

石巻市立学校施設災害復旧整備計画

平成24年3月

石巻市教育委員会

石巻市立学校施設災害復旧整備計画
目 次

1 背景	1 ページ
2 策定方針	1 ページ
3 津波被害の状況	2 ページ
4 標準的復旧整備スケジュール	2 ページ
5 津波避難ビルの構造的要件	2 ページ
6 復旧整備計画	3 ページ
【門脇地区】	3 ページ
【湊 地区】	5 ページ
【渡波地区】	7 ページ
【河北地区】	8 ページ
【雄勝地区】	10 ページ
【北上地区】	12 ページ
【牡鹿地区】	14 ページ

石巻市立学校施設災害復旧整備計画

1 背景

東日本大震災では、本市の全ての小・中学校が何らかの被害を受けた。中でも大きな津波被害を受けた小・中学校 14 施設が授業を継続できない状態となるなど、これまでに経験したことのない事態に遭遇している。

学校施設は、個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむ主要な施設であることから、一日も早く正常な状態に復旧させるため、本計画を策定するものである。

2 策定方針

本計画の策定にあたっては、以下の 3 点の考え方をもとに検討を行った。

1 点目は、「津波被害からの安全を確保した学校の配置」である。本市が昨年 12 月に策定した「石巻市震災復興基本計画」では、市街地においては海岸防潮堤や河川堤防に加え、堤防機能を有する高盛土道路や防潮林を整備し、高台への避難路や避難ビルの確保と併せたトータルでの安全性の確保が掲げられている。また、沿岸部や半島部においては、海岸防潮堤の整備に加え、住民の意向を踏まえた居住地の高台移転、公共施設の移転のための土地利用等が掲げられている。本計画の策定にあたっては、これらの土地利用の考え方と軌を一にしつつ、より安全な学校施設の配置について検討を行った。

2 点目は、「学校の適正規模」である。本市では震災前より全学年 1 学級又は複式学級の小規模校が多数存在しており、教育環境に大きな差が生じていた。小規模校では、きめ細やかな指導が可能になるといったメリットがある反面、限られた友人による人間関係となることや切磋琢磨する機会が少ないこと、教員の役割分担が難しくなっていることなどについて教育環境の改善が必要となっている。本計画の策定にあたっては、可能な範囲で統廃合を含めた適正規模の実現についても検討を行った。

3 点目は、「より早い教育環境の正常化」である。そのため、本計画の策定内容については、「石巻市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に掲げている、「小学校は 1 学年 2 学級以上、中学校は 1 学年 3 学級以上を適正規模とする」「市町村合併以前の旧町単位には少なくとも一つの小・中学校を残す」とする基本方針に一部沿わない点が生じているが、当該基本方針については長期的な課題として、本計画の完了後に地域の理解を得ながら進めていくこととする。

また、本計画の実行にあたっては各地域の協力が不可欠であることから、計画の策定にあたっては保護者や地域住民に対する説明会を各地区において開催し、寄せられた意見について出来る限り計画に反映することとした。

3 津波被害の状況（日本建築学会の調査による。）

地区別等	被災校名	津波到達位置等		間借り校等 (H23.2.1現在)
		校舎	体育館	
門脇地区	門脇小学校	1階床上 2m	床上	門脇中学校
湊地区	湊小学校	1階天井	床上 3m	住吉中学校
	湊第二小学校	1階天井	床上 3m	仮設校舎（開北小校庭）
	湊中学校	1階天井	1階天井	仮設校舎（中里小校庭）
渡波地区	渡波小学校	犬走りから 1.7m	浸水無し	仮設校舎（稲井中校庭）
	渡波中学校	2階床上	床上 3m	仮設校舎（稲井小校庭）
河北地区	大川小学校	2階屋根	流出	飯野川第一小学校
	大川中学校	1階床上 1.5m	床上 2m	飯野川中学校
雄勝地区	雄勝小学校	2階屋上	流出	河北中学校
	船越小学校	3階床上	3階屋根	宮城県石巻北高等学校飯野川校
	雄勝中学校	3階天井	流出	宮城県石巻北高等学校飯野川校
北上地区	相川小学校	水没	流出	橋浦小学校
	吉浜小学校	水没	天井付近	橋浦小学校
牡鹿地区	谷川小学校	2階屋上	流出	大原小学校

4 標準的復旧整備スケジュール

事業内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
仮設校舎建設	←→					
補修工事（設計業務を含む。）		←→	←→			
移転新築（用地選定）	←→					
〃（用地取得・地質調査・用地造成）		←→	←→			
〃（設計業務）				←→		
〃（新築工事）					←→	←→
学校統合	←→	←→				

※ 「標準的復旧整備スケジュール」は、校舎の建設や補修工事、学校を統合した場合の標準的な整備スケジュールを示したものである。したがって、補修する建物の詳細な調査結果、移転しようとする高台などの用地が埋蔵文化財の指定エリアや地質調査に基づく用地の状況などの影響により、復旧整備スケジュールの延伸が必要となる場合がある。

5 津波避難ビルの構造的要件（内閣府「津波避難ビル等に係るガイドライン」より）

- 耐震性：耐震診断によって耐震安全性が確認されている構造物、または、新耐震設計基準（昭和56年施行）に適合していること。
- 津波に対する安全性：RC造又はSRC造で階数は次を目安とする。

想定浸水深	階数
1 m以下	2階建て以上
2 m	3階建て以上
3 m	4階建て以上

6 復旧整備計画

【門脇地区】

《計画》

「石巻市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、石巻中学校学区及び門脇中学校学区の小・中学校を含めた統合・再編に向けた検討を平成24年度末までに行う。

《説明》

門脇小学校校舎は津波の襲来とその後が発生した火災により大破して現校舎の復旧が困難な状況となっている。また、石巻市震災復興基本計画では、シンボル公園の設置が計画されるなど、従来の門脇小学校区の多くが非可住区域となることから、津波被害からの安全性の確保という面では、早期に移転用地を確保することも難しい。また、当該計画では、門脇小学校区の多くに加え、大街道小学校区の一部も非可住区域となるため、門脇中学校区として大幅な世帯数の減少が予想される。さらに、住民説明会では、石巻中学校区を含めた学区再編に関する要望も出ていたところである。

したがって、門脇地区の復旧整備については、適正規模の観点からは、石巻中学校区及び門脇中学校区の小・中学校を含めた統合・再編に向けた検討を行う必要があるが、結論を見出すまでには相当な期間を要することから、暫定的措置として門脇中学校校舎の間借りを継続する。

《今後の対応》

門脇小学校は、門脇中学校校舎の間借りを継続する。

門脇中学校現校舎の恒久的な校舎の改修等を行わず、仮設校舎の整備や小便器を使用する際に必要なステップを設置するなど、簡易的な改修等に止めて小学生の使用に対応する。

《児童・生徒数の推移》

(門脇小学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	12 (2)	9 (1)	△3	8 (2)	△4
児童数	281 (4)	220 (1)	△61	184 (2)	△97

(門脇中学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の生徒数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 生徒数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	13 (2)	13 (2)	—	11 (1)	△2
生徒数	352 (3)	322 (2)	△30	314 (1)	△38

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(門脇小学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	8	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
児童数	219	182	171	155	149	138	139	141	137	137	130

(門脇中学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	11	10	9	9	9	9	8	7	7	6	7
生徒数	320	313	312	308	291	277	243	213	202	201	212

【湊地区】

《計画》

平成26年4月に湊第二小学校を湊小学校に統合して、湊小学校現校舎を使用する。

湊中学校は、平成26年4月から現校舎で再開する。

《説明》

湊小学校及び湊第二小学校の学級数は、両校ともに特別支援学級を除くと各学年1学級となっており、2校を統合してもその解消には至らない状況となっている。今後、復旧・復興が進み児童数の増加が予想されるものの、震災以前の児童数や学級数から見ても、単独校による適正規模の確保が見込めないため統合する。

被災した湊小学校、湊第二小学校及び湊中学校の現校舎は、石巻市震災復興基本計画における可住区域内に位置し、海岸防潮堤や高盛土道路の整備による「多重防御」によるまちづくりが推進され、津波被害からの安全性が確保される。また、湊小学校及び湊中学校の現校舎は、共に RC 造4階建て校舎で耐震性があり避難ビルの構造的要件を満たしていることから現地に復旧する。

《今後の対応》

湊小学校現校舎を平成25年度末までに補修し、裏山への避難路の整備を進める。

湊小学校は、統合するまでの期間、住吉中学校に間借りを継続し、不足が見込まれる特別教室等については、平成24年度中に住吉中学校の校庭以外の用地に仮設校舎を建設する。

湊第二小学校は現仮設校舎の使用を継続する。

湊中学校は現仮設校舎の使用を継続し、平成25年度末までに現校舎を補修する。

《児童・生徒数の推移》

(湊小学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数(A)	H24.3.1現在 における児童数(B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み(C)	(C) - (A)
学級数	9 (2)	8 (2)	△1	8 (2)	△1
児童数	207 (4)	148 (4)	△59	132 (3)	△75

(湊第二小学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数(A)	H24.3.1現在 における児童数(B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み(C)	(C) - (A)
学級数	10 (2)	8 (2)	△2	7 (1)	△3
児童数	227 (3)	126 (2)	△101	106 (1)	△121

○湊小学校と湊第二小学校を統合した場合の児童数 ※（ ）書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1 現在 における児童数 (A)		H26 年度に統合した場合の 児童数の見込み (B)	(B) - (A)
	湊小学校	湊第二小学校		
学級数	8 (2)	8 (2)	11 (1)	△5
児童数	148 (4)	126 (2)	235 (2)	△39

(湊中学校) ※（ ）書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の生徒数 (A)	H24.3.1 現在 における生徒数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 生徒数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	8 (0)	7 (0)	△1	6 (0)	△2
生徒数	251 (0)	217 (0)	△34	177 (0)	△74

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(湊小学校) (単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
児童数	144	129	129	130	115	101	97	104	94	93	95

(湊第二小学校) (単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
児童数	124	105	102	103	98	90	98	108	102	95	96

(湊中学校) (単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	7	6	6	6	5	5	5	4	4	5	5
生徒数	217	177	156	142	139	133	128	95	98	105	118

【渡波地区】

《計画》

渡波小学校は、平成25年度末までに現校舎の補修を行い、現校舎を使用する。

渡波中学校は、平成28年度末までに内陸部に移転新築する。

《説明》

被災した渡波小学校校舎の立地箇所は、石巻市震災復興基本計画において可住区域に位置付けられ、防潮堤や二線堤、高盛土道路の整備による「多重防御」のまちづくりが推進され、津波被害からの安全性が確保されることから、渡波小学校については現地に復旧する。

渡波中学校の立地箇所は非可住区域に位置付けられていることから、津波被害に対する安全性が確保される内陸部へ移転新築する。

《今後の対応》

渡波小学校は、現仮設校舎の使用を継続し、平成25年度末までに現校舎の補修を行って現地再開する。

渡波中学校は現仮設校舎の使用を継続する。新校舎建設については、復興計画において整備予定の新市街地に、平成28年度末を目標に移転新築する。

《児童・生徒数の推移》

(渡波小学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	14 (2)	14 (2)	—	12 (2)	△2
児童数	429 (8)	290 (4)	△139	257 (3)	△172

(渡波中学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の生徒数 (A)	H24.3.1現在 における生徒数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 生徒数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	16 (2)	13 (2)	△3	12 (1)	△4
生徒数	482 (6)	404 (5)	△78	355 (4)	△127

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(渡波小学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	12	10	10	10	10	10	11	12	12	11	10
児童数	286	254	241	238	243	240	252	268	263	258	252

(渡波中学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	11	11	11	9	10	9	9	9	8	9	9
生徒数	399	351	346	314	339	314	294	248	258	282	304

【河北地区】

《計画》

大川小学校は移転新築を行うこととし、地域の復興状況を見極めながら移転用地を選定する。

大川中学校は、平成25年4月に河北中学校に統合する。

《説明》

大川小学校及び大川中学校の通学区域のうち、福地を除く地区のほとんどが津波の被災を受けており、児童生徒数が大幅に減少している。今後の児童生徒数の推移を見ると、大川小学校及び大川中学校は共に他校と統合することが望ましいが、大川小学校についてはきめ細やかな指導が必要であることから、大川小学校は移転新築する。

一方、大川中学校については、社会性の発達過程において、幅広い人間関係の構築が大切であること、部活動などを行うにはある程度まとまった生徒数が必要であることから、河北中学校に統合する。

《今後の対応》

大川小学校は、飯野川第一小学校校舎の間借りを継続する。また、地域の復興状況を見極めながら移転用地を選定する。

大川中学校は、飯野川中学校校舎の間借りを継続し、統合に向けて保護者や地域、関係機関との協議を進める。

《児童・生徒数の推移》

(大川小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	8 (2)	6 (1)	△2	7 (1)	△1
児童数	103 (2)	23 (1)	△80	22 (1)	△81

(大川中学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の生徒数 (A)	H24.3.1現在 における生徒数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 生徒数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	3 (0)	3 (0)	—	3 (0)	—
生徒数	56 (0)	38 (0)	△18	21 (0)	△35

○大川中学校と河北中学校を統合した場合の生徒数 ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1現在 における生徒数 (A)		H25年度に統合した場合の 児童数の見込み (B)	(B) - (A)
	大川中学校	河北中学校		
学級数	3 (0)	8 (2)	8 (2)	△3
生徒数	38 (0)	141 (2)	159 (2)	△20

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(大川小学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	5	6	3	4	4	5	5	5	5	4	4
児童数	22	21	29	35	43	44	46	49	44	45	42

(大川中学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	3	2	2	2	2	2	2	2	3	3
生徒数	38	21	10	7	7	9	12	14	20	23	29

(河北中学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	5
生徒数	139	146	147	155	146	145	143	128	127	105	110

【雄勝地区】

《計画》

平成25年4月に船越小学校を雄勝小学校に統合する。

統合小学校と雄勝中学校の本校舎の建設は、雄勝地区の住環境の整備に合わせて大浜地区に小中併設校として建設する。

なお、大須小学校と大須中学校は、併設校開校時にそれぞれ統合する。

《説明》

雄勝小学校と船越小学校は以前から一体感が醸成されており、統合に関して前向きに検討されている。

また、平成24年2月に「雄勝地区統合小中学校の早期建設整備についての要望書」が雄勝地区父母教師会連合会、雄勝地区会長会及び雄勝地区震災復興まちづくり協議会から提出され、雄勝地区の小中学校を統合による1校併設校としての早期整備を図るよう要望があったことから、住環境の整備と合わせて雄勝地区の中間点である大浜地区に1校併設校として移転新築する。

《今後の対応》

雄勝小学校と船越小学校については、平成25年4月の統合に向けて保護者や地域、関係機関との協議を進める。

統合するまでの期間、船越小学校は石巻北高等学校飯野川校校舎の間借りを継続し、雄勝小学校は河北中学校校舎の間借りを継続する。平成25年4月の統合後は、石巻北高等学校飯野川校校舎を間借りする。

雄勝中学校は石巻北高等学校飯野川校の間借りを継続する。

小中併設校の本校舎建設までに、大須小学校及び大須中学校の統合に向けて、保護者や地域、関係機関との協議を進める。

《児童・生徒数の推移》

(雄勝小学校)

※()書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	7 (1)	7 (1)	—	6 (1)	△1
児童数	91 (1)	42 (1)	△49	40 (1)	△51

(船越小学校)

※()書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	3 (0)	3 (0)	—	3 (0)	—
児童数	16 (0)	15 (0)	△1	10 (0)	△6

○雄勝小学校と船越小学校を統合した場合の児童数

※()書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1現在 における児童数 (A)		H25年度に統合した場合の 児童数の見込み (B)	(B) - (A)
	雄勝小学校	船越小学校		
学級数	7 (1)	3 (0)	5 (1)	△5
児童数	42 (1)	15 (0)	48 (1)	△9

○雄勝小学校と船越小学校を統合後、大須小学校と統合した場合の児童数

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H25年度の児童数の見込み(A)		H29年度に統合した場合の児童数の見込み(B)	(B) - (A)
	統合小学校	大須小学校		
学級数	5 (1)	3 (0)	4 (0)	△ 4
児童数	48 (1)	16 (0)	37 (0)	△ 27

(雄勝中学校)

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた4.1現在の生徒数(A)	H24.3.1現在における生徒数(B)	(B) - (A)	H24年度の生徒数の見込み(C)	(C) - (A)
学級数	4 (1)	4 (1)	—	3 (0)	△ 1
生徒数	79 (3)	54 (2)	△ 25	42 (0)	△ 37

○雄勝中学校と大須中学校を統合した場合の生徒数

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1現在における生徒数(A)		H29年度に統合した場合の生徒数の見込み(B)	(B) - (A)
	雄勝中学校	大須中学校		
学級数	4 (1)	3 (0)	4 (1)	△ 3
生徒数	54 (2)	21 (0)	30 (1)	△ 45

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(雄勝小学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3
児童数	41	39	36	30	25	24	23	24	22	23	22

(船越小学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
児童数	15	10	11	9	8	7	6	7	4	4	4

(大須小学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
児童数	18	15	16	12	11	8	8	8	6	6	6

(雄勝中学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
生徒数	52	42	38	34	36	28	22	13	19	17	20

(大須中学校)

(単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生徒数	21	14	13	10	9	11	7	6	5	5	5

【北上地区】

《計画》

平成25年4月に相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の3校を新設校として統合し、当分の間、橋浦小学校現校舎を使用する。

統合小学校の本校舎は、北上地区の住環境の整備に合わせて、にっこりサンパーク周辺に移転新築する。

《説明》

相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の3校は、橋浦小学校現校舎を使用して各校の各学年を1学級として合同で授業を行うなど、一体感が醸成されている。

また、平成24年2月に、「相川小、橋浦小、吉浜小3校統合に伴う高台移転に関する請願」が相川小学校父母教師会、橋浦小学校父母教師会及び吉浜小学校父母教師会から提出され、北上地区3校の統合による本校舎について、高台に移転新築するよう要望があったことから、住環境の整備と合わせてにっこりサンパーク周辺に移転新築する。

本校舎を高台に移転新築するまでの期間は、暫定的措置として橋浦小学校現校舎を使用する。

《今後の対応》

相川小学校、吉浜小学校及び橋浦小学校の統合に向けて、保護者や地域との協議を進める。また、統合小学校本校舎の高台移転に向けた検討を進める。

《児童・生徒数の推移》

(相川小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	7 (1)	7 (1)	—	7 (1)	—
児童数	75 (2)	68 (2)	△7	59 (1)	△16

(吉浜小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	5 (0)	4 (0)	△1	4 (0)	△1
児童数	51 (0)	14 (0)	△37	13 (0)	△38

(橋浦小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	7 (1)	7 (1)	—	8 (2)	1
児童数	89 (2)	85 (2)	△4	73 (3)	△16

○相川小学校、吉浜小学校、橋浦小学校を統合した場合の児童数

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1現在 における児童数 (A)			H25年度に統合した 場合の児童数の見込み (B)	(B) - (A)
	相川小学校	吉浜小学校	橋浦小学校		
学級数	7 (1)	4 (0)	7 (1)	9 (3)	△9
児童数	68 (2)	14 (0)	85 (2)	137 (3)	△30

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(相川小学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	6	5	5	4	4	4	4	4	4	4
児童数	66	58	55	49	42	38	32	34	31	30	31

(吉浜小学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	4	4	2	2	2	3	3	3	3	3	3
児童数	14	13	16	14	9	15	19	22	21	22	25

(橋浦小学校)

(単位：人)

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6
児童数	83	70	63	58	59	57	64	60	61	63	61

【牡鹿地区】

《計画》

谷川小学校を大原小学校へ平成24年4月に統合する。

《説明》

谷川小学校父母教師会及び地区住民から提出されている大原小学校への統合についての要望書に基づき、平成23年第4回定例会に石巻市立学校設置条例の一部を改正する条例案を提出し、議決を得ている。

《今後の対応》

谷川小学校を本年3月に閉校し、大原小学校へ本年4月に統合する。

《児童・生徒数の推移》

(谷川小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	3 (0)	3 (0)	—	—	—
児童数	10 (0)	7 (0)	△3	—	—

(大原小学校) ※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H23.3.1に見込まれた 4.1現在の児童数 (A)	H24.3.1現在 における児童数 (B)	(B) - (A)	H24年度の 児童数の見込み (C)	(C) - (A)
学級数	4 (0)	4 (0)	—	—	—
児童数	41 (0)	27 (0)	△14	—	—

※谷川小学校及び大原小学校の「H24年度の児童数の見込み」は、統合が決定しているため各校の標記は行わない。

○大原小学校と谷川小学校の統合後の児童数

※ () 書きは特別支援学級を内書き (単位:人)

区分	H24.3.1現在 における児童数 (A)		統合後における H24年度の児童数の見込み (B)	(B) - (A)
	谷川小学校	大原小学校		
学級数	3 (0)	4 (0)	6 (0)	△1
児童数	7 (0)	27 (0)	27 (0)	△7

《普通学級における児童生徒数の長期見込み》

(谷川小学校) (単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
児童数	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※谷川小学校の「普通学級における児童生徒数の長期見込み」は、統合が決定しているため標記しない。

(大原小学校) (単位:人)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
学級数	4	6	4	4	4	4	4	4	4	4	4
児童数	27	27	30	31	35	41	41	45	46	45	44

※大原小学校の「普通学級における児童生徒数の長期見込み」は、統合後の長期見込みである。